

国における手取川上流の崩壊地対策の実施状況について

1 崩壊地対策の概要

林野庁では、崩壊地に残る泥成分を多く含んだ土砂の流出を防止するため、7月15日から9月21日にかけて、対策を実施

2 国による崩壊地対策の実施状況

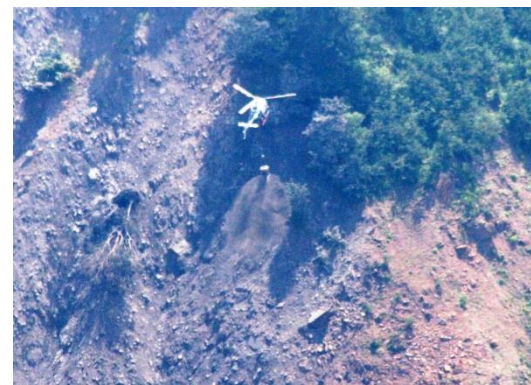
(1) 浸食防止剤吹付工（7月15日～8月27日）

内容：ヘリコプターにより崩壊地斜面に浸食防止剤を散布

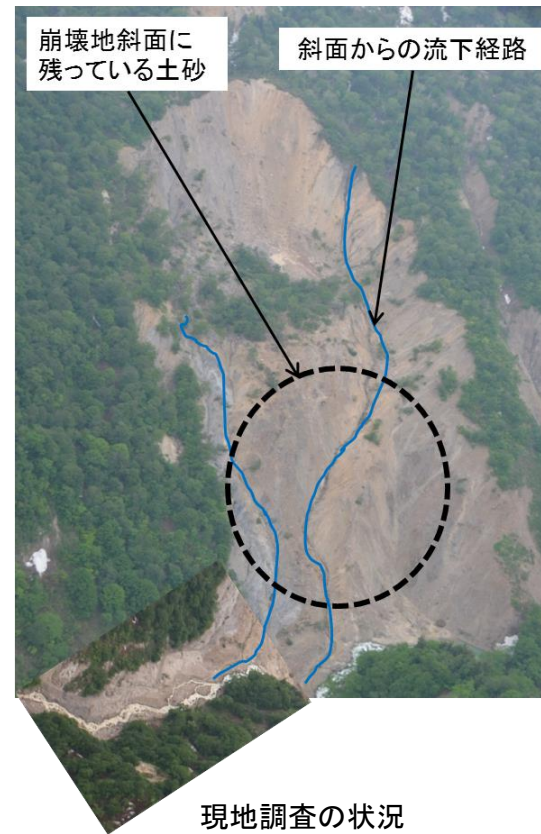
目的：斜面上の表土を凝固させ、土砂流出を防止



ヘリポートでの資材積込



浸食防止剤の散布状況



現地調査の状況

(2) 袋型石詰土留工（9月14日～9月21日）

内容：ヘリコプターにより斜面の流水が集中する崩壊地中腹に石を袋詰めした資材を設置

目的：崩壊地での浸食防止



袋詰めした資材



袋詰めした資材の積込

3 今後の国の対応

有識者の助言を得ながら、

- ・崩壊地をモニタリングし、対策の効果を分析
- ・対策の効果を見極め、必要な対策を引き続き検討



定点カメラ設置による崩壊地のモニタリング